

事業所名

グリーンスクール善行

支援プログラム（参考様式）

作成日

2024 年

11 月

27 日

法人（事業所）理念	心のケアを大切に家庭的施設、地域に拓かれた施設作りを目指して。				
支援方針	特定の活動に特化することを特徴とはせず、様々な遊びの中から『自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力』を養うことを目指します。				
営業時間	10 時	0 分から	19 時	0 分まで	送迎実施の有無 あり なし ※送迎可能エリアあり
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	安心して通うことのできる環境と体制を整えます。 野菜や果物の収穫体験、スクールランチの提供を通して、食への興味、関心を広げます。 お手伝い体験や片付け、身の回りの整理整頓、衣類の着脱、手洗い等の生活習慣を通じて生活スキルを養います。			
	運動・感覚	広いスペースを活用して、児童同士の交流ができる身体を動かす活動を積極的に取り入れます。 法人本部のグラウンドを利用し、身体を動かす機会を増やします。 （バトミントン・大縄・シャボン玉・縄跳び・鬼ごっこ・ボール、フリスビー遊び・ダンス・凧あげ・ゲーム等） 創作や塗り絵、スライム作りを通して、指先の感覚を刺激し、遊びながら体験していきます。			
	認知・行動	スケジュール管理や自己チェックリスト、予定表の作成を通じて生活の中で自己管理をし、計画性を身につけます。 お手伝いや片付け等を通して、他者を思いやる気持ちを養い、自己肯定感の向上に繋がります。 体調や精神面に考慮し、必要に応じて静養室や相談室を使用し、落ち着いて過ごせるよう環境を整えます。			
	言語 コミュニケーション	コミュニケーションを図る際には、特性に応じて以下の方法やツール等も使用し、自分の意志や要望を伝える練習をします。 ①絵カード ②マカトンサイン ③ジェスチャー ④単語でのやり取り マカトンサインを練習する時間を取り入れ、児童同士が言葉以外の方法でコミュニケーションをとる経験を増やします。			
	人間関係 社会性	グリーンスクールの5事業所が合同で参加できる行事を行い、広く仲間と交流し、知り合いを増やして安心して生活できる環境作りを行います。 社会性を習得するための支援に力点を置き、買い物体験を行います。 グループ活動や遊びを通して友達と関わりながら、ルールを守ることや自己表現、他者への配慮を学ぶ機会を作ります。			
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>希望者にはスクールランチの提供を行います。</li> <li>連絡帳や帰りの送迎の際に、利用時の様子をお伝えします。</li> <li>希望に応じて面談等を行い、個別支援計画書の見直しや修正を行います。</li> <li>家庭生活において、留意事項があった際には情報共有をさせていただきます。</li> </ul>	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員研修を毎月実施しています。</li> <li>外部研修を受講し、職員へのフィードバックを行います。</li> <li>毎日のミーティングや月1回の職員会議にて支援方法を検討します。</li> </ul>		
移行支援 地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアの受け入れを行い、児童が多様な人々と関わる機会を設けます。</li> <li>法人内の就労継続支援B型事業所ビーバー、ビーバーファクトリーへの訪問。</li> <li>法人本部内のグラウンドでの活動。</li> <li>公園へ出かけた際には、地域の子もたちと関わり遊ぶ機会を設けます。</li> <li>世代間交流</li> <li>学校や他事業所、相談支援専門員等と情報共有を行います。</li> </ul>				
主な行事等	野菜の収穫体験・プール活動・避難訓練（火災・地震）・お花見・ハロウィンイベント・運動会・クリスマス会・凧あげ・節分・おやつ作り・創作活動・音楽活動・遊具活動・足浴・グリーンスクール5事業所（善行・秋葉台・村岡・湘南台・立石）交流				

事業所名

グリーンスクール秋葉台

支援プログラム（参考様式）

作成日

2024 年

11 月

27 日

法人（事業所）理念		心のケアを大切に家庭的施設、地域に開かれた施設作りを目指して。					
支援方針		特定の活動に特化することを特徴とはせず、様々な遊びの中から『自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力』を養うことを目指します。					
営業時間		10 時	0 分から	19 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし ※送迎可能エリアあり
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活スキルの獲得を目指して、主に以下の取り組みます。</li> <li>①トイレトレーニング（例：便座に座る練習、拭き取りの練習等）</li> <li>②女兒を対象に生理用品交換への支援</li> <li>③身だしなみ（例：シャツをしまう、食事後口周りの拭き取り練習等）</li> <li>④昼食やおやつ時の食具の支援</li> <li>⑤持ち物の管理</li> </ul>					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の興味がある物やご家族の要望に応じて、出来るようになりたいことを個別活動の時間として取り組みます。（例：名前を書く練習、計算練習）</li> <li>・創作や塗り絵等、指先を意識して集中して取り組む時間を設けています。</li> <li>・粘土やスライム作りを通して、保有する感覚（触覚、視覚、聴覚等）を刺激し、遊びながら体験していきます。</li> <li>・中庭、近隣の秋葉台公園、法人本部のグラウンド等を利用して、身体を動かす時間を設けていきます。</li> </ul>					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の流れについては、事前に口頭で説明をしたり、絵カード等を使用して視覚的に理解し行動できるように支援します。</li> <li>・外出時には、交通ルールを楽しく学べるように、信号や横断歩道での注意点、歩道を歩く際のマナー等を身につけられるようにします。</li> <li>・お手伝いをしたい児童には積極的に依頼をして、自己肯定感の向上に繋げていきます。</li> </ul>					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会話をする際には、児童の基礎的能力に応じて、以下の方法やツール等も使用します。</li> <li>①絵カード ②マカトンサイン ③ジェスチャー ④単語でのやり取り</li> <li>・困った時に発信することができるように、児童に合わせたヘルプサインの獲得や語彙力の向上を目指します。</li> <li>・送迎発表や帰宅前の号令等、他児童と協力して発表する場を設けて、他者との関わりを深められるようにします。</li> </ul>					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶を通じて人間関係の構築や社会性の向上を目指します。</li> <li>・室内レクリエーションにてルールのある遊び（鬼ごっこ、しっぽとり、カードめくり競争等）を取り入れ、社会性の発達を促します。</li> <li>・公園での遊具遊びでは、楽しく遊びながら順番やルールを守ることを学んでいきます。</li> <li>・玩具のお金を使用して、お買い物体験を定期的実施し、自立に向けたやり取りを体験できるようにします。</li> </ul>					
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳や帰りの送迎の際に、利用時の様子をお伝えします。</li> <li>・希望に応じて、面談等を行い、個別支援計画書の見直しや修正を行います。</li> <li>・家庭生活において留意事項があった際には、情報共有をさせていただきます。</li> <li>・希望者には、スクールランチの提供を行います。</li> </ul>			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場内での研修を定期的実施します。</li> <li>・外部研修へ参加し、職員へのフィードバックを実施します。</li> <li>・毎日のミーティングや月1回の職員会議にて支援方法を検討します。</li> </ul>
移行支援 地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人本部のグラウンド利用や、野菜の収穫体験、プール活動を計画し、世代間交流や5事業所（グリーンスクール善行・秋葉台・村岡・湘南台・立石）での交流の場を設けています。</li> <li>・ハロウィン週間では、近隣企業へ訪問し、交流をします。</li> <li>・法人内の就労継続支援B型事業所ビーバー、ビーバーファクトリーとの交流をします。</li> <li>・学校や他事業所、相談支援専門員等と情報共有を行います。</li> <li>・近隣の公園では、地域のひととの挨拶等を交わし関わりを深められるようにします。</li> </ul>					
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期休暇時には、おやつ作り（年4回）、プール活動（夏休み）を実施します。</li> <li>・ハロウィン、クリスマス、お正月、節分等、季節に合わせた創作や室内の装飾作りを毎月行います。</li> <li>・じゃがいも堀り、さつまいも堀り、大根堀り、みかん狩り等の収穫体験（年4回）を計画します。</li> <li>・火災や地震を想定した避難訓練（年2回）を行います。</li> <li>・外出活動（近隣散歩や公園での遊具遊び）や室内活動（レクリエーションや創作等）を活動に取り入れています。</li> </ul>					

法人（事業所）理念		心のケアを大切に家庭的施設、地域に拓された施設づくりを目指して							
支援方針		特定の活動には特化することの特徴とはせず、様々な遊びの中から『自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力』を養うことを目指します。							
営業時間		10時	0分	19時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし	※送迎可能エリアあり
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	自身の身の回りのこと、衣類の着脱、手洗い、排泄などの生活習慣が身に付けられるよう支援します。活動の際に休息や水分補給を取ることができるように支援します。							
	運動・感覚	公園や本部グラウンドへ行き体を動かせるようにします。室内フロアを活用し、レクリエーションやダンスなど行い体を動かします。足浴を行い足先の感覚、リラックス効果を体験できるようにします。創作活動を通して、はさみ使い方や指先を使えるよう支援します。							
	認知・行動	当日の活動予定を絵カードにし、フロアに掲示し、確認できるようにします。活動の時間は時計と絵カードを照らし合わせられるように掲示します。外出活動を通して、交通ルールや遊び方(順番やルール)を伝えていきます。							
	言語コミュニケーション	児童それぞれに合った方法でコミュニケーションを行えるよう支援します。(マカトンサイン・絵カード・コミュニケーションボード)活動内や帰りの会などで発表する機会を設け、話す経験を提供します。声の大きさや相手との距離感を身につけられるよう支援します。							
	人間関係 社会性	グリーンスクールの各事業所との交流を行い、交友関係を築けるよう支援します。高齢部門の職員やご利用者との関わりを築ける機会を提供します。(挨拶や行事の交流)集団での遊びを通してルールを守る事や自己表現、他者への学ぶ機会を作ります。							
家族支援		長期休みなどのスクールランチの提供 連絡帳や帰宅送迎時に児童の様子を伝える 保護者の希望に応じて、面談を実施 児童の状況に応じて、都度個別支援計画書更新			職員の質の向上	2ヶ月に1回の勉強会を実施 外部の研修へ都度参加 職員へのフィードバック			
移行支援 地域支援・地域連携		理事長宅での収穫体験・法人内での世代間交流・学校や他事業所、計画相談員との情報共有 外出活動を通して地域の人との交流 就労継続支援B型事業所ビーバーとの交流							
主な行事等		野菜の収穫体験・プール活動・おやつ作り・足浴・避難訓練(火災・地震)・ハロウィンイベント・クリスマス・初詣・5事業所との交流活動							

事業所名

グリーンスクール村岡

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

2024 年

11 月

27 日

法人（事業所）理念	心のケアを大切に家庭的施設、地域に開かれた施設作りを目指して				
支援方針	特定の活動に特化することを特徴とはせず、様々な遊びの中から『自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力』を養うことを目指します				
営業時間	10 時	0 分から	19 時	0 分まで	送迎実施の有無 あり なし ※送迎可能エリアあり
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	生活全般の自立に向けて、個々に合わせてできることを増やしていきます。 心の安定を図るため、本人のやりたいことを充実させていきます。			
	運動・感覚	地域にある公園、山、神社、寺へ出かけ、身体機能を高めていきます。 運動を通して身体の柔軟性を高め、健康的で怪我をしない体作りを目指していきます。			
	認知・行動	こだわりや偏食に対して、家庭や学校と情報共有を行い、個別に対応していきます。 環境や状況を把握し、自ら行動できるように支援します。（視覚優位の児童には、色や大きさ、数の概念の形成を図っていきます）			
	言語 コミュニケーション	言葉やゼスチャー、サインなど、一人ひとりに合わせた方法で、コミュニケーションを図っていきます。 コミュニケーションを通して、人との関係を深め語彙力を広げていきます。			
	人間関係 社会性	愛着形成の元、他者との関わりの時間を小集団から進め、支援します。 遊びを通して、社会性を学ぶ機会を積極的に設け支援していきます。			
家族支援	保護者面談、電話相談、送迎時に活動時の様子の情報共有、 食事の提供（スクールランチ）	職員の質の向上		内部研修、外部研修へ参加し、職員へフィードバックを行います。	
地域支援・地域連携・移行支援	学校・関係機関との連携、世代間交流、他事業所との情報共有、外出活動を通して地域の方との交流、就労継続支援B型事業所ピーパーの訪問、担当者会議				
主な行事等	野菜の収穫体験、プール活動、5事業所合同活動、季節の創作、避難訓練（火災、地震）、ハロウィンパーティー、クリスマスパーティー、初詣、節分、おやつ作り、足浴				

事業所名

グリーンスクール立石

支援プログラム（参考様式）

作成日

2024年

11月

28日

法人（事業所）理念	「心のケアを大切に家庭的施設、地域に開かれた施設づくりを目指して」				
支援方針	特定の活動に特化することをせず、様々な遊びの中から『自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力』を養うことを目指します。				
営業時間	10時	0分から	19時	0分まで	送迎実施の有無 ○あり    なし    ※送迎可能エリアあり
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	基本的な生活スキルの獲得を目指して、食事・トイレ・身だしなみ等を児童に合わせて支援します。（例：食事の準備・片付け、手洗い、トイレ動作、衣類を整える等）身支度や持ち物の管理等ができるように、言葉や絵カード、スケジュール表等を用いて習得できるように支援します。体調管理ができるよう小さなサインを見逃さないように観察し、休憩時間の設定、水分補給、衣類の調整等ができるように支援します。			
	運動・感覚	グラウンドを使用し、ティーボール、サッカー、綱引き、キャッチボール、追いかけてっこ、ダンス等身体を動かす活動を提供します。ブロック、ポーリング、的あて、ジェンガ、バランスボール、砂遊び等、感覚を使った遊びを提供します。個人の興味があることやご家族の要望に応じて、出来るようになりたいことを個別活動として取り組みます。（名前練習、なぞり書き、漢字、計算、ペーパークラフト、点つなぎ、シール貼り、間違え探し、迷路、クイズ、塗り絵、折り紙等）			
	認知・行動	時計を見て時間を意識して、自ら行動ができるように支援します。活動を通じて、危険な事柄を知り、適切な行動ができるように支援を行います。気持ちが落ち着かない様子がある時は、静養室等落ち着いて過ごせるように環境整備を行います。			
	言語コミュニケーション	具体的な物事や体験と言葉の意味を結びつける等により、体系的な言語の習得や自発的な発声を促す支援をします。一人一人の発達段階に対応するコミュニケーション手段を選定し、安心して意思の伝達ができるように支援します。（指差し・身振り手振り・サイン等）困った時に発信ができるように、児童に合わせたヘルプサインを身につけられるようにします。個別活動にて、名前のなぞり書きやひらがな・漢字のプリント等、言葉に触れる機会を設け、習得できるように支援します。			
	人間関係社会性	挨拶を通して、人間関係の構築や社会性の向上を目指します。集団活動の中で、役割分担をしたり、約束事やルールを守ることの大切さを伝え、生活に必要なスキルを身につけることができるように支援します。自分の気持ちや相手の気持ちを考えることができるように、その時に抱いている感情を知ることができるように支援します。			
家族支援	連絡帳や帰りの送迎時にご利用時の様子をお伝えします。保護者の希望に応じて、面談等を実施します。祝日や長期休暇にスクールランチの提供を行います。	職員の質の向上	毎日のミーティングや月1回の職員会議にて支援方法を検討します。2ヶ月に1回職員内で勉強会を実施。外部研修へ参加し、職員へのフィードバックを実施。		
移行支援 地域支援・地域連携	学校や他事業所、相談支援専門員等と情報共有を行います。法人内で収穫体験、世代間交流を実施。挨拶を通して、地域の人との交流を行います。随時、ボランティアの受入れも行ってまいります。				
主な行事等	長期休暇時おやつ作り（年4回）実施。避難訓練（年2回）実施。夏休みに水遊び実施。ハロウィン、クリスマス、お正月、節分等、季節に合わせた創作や装飾作りを実施。じゃがいも堀り、さつまいも堀り、大根堀り、みかん狩り等、5事業所（善行・秋葉台・村岡・湘南台・立石）合同での収穫体験を実施。				